

# 萩野が銀メダル



男子400m自由形決勝 3分44秒82で銀メダルの萩野公介＝バルセロナ

世界水泳  
400m自由形

## 日本勢53年ぶり

【バルセロナ共同】水泳の世界選手権第9日は28日、バルセロナで競泳が始まり、個人6種目に出場する18歳の萩野公介(作新高一・東洋大)が男子400m自由形で日本記録を0秒17更新

新する3分44秒82をマークして銀メダルを獲得した。五輪、世界選手権の同種目の日本勢では、1960年ローマ五輪銀の山中毅以来、53年ぶりの表彰台。ロンドン五輪金メダルの孫楊(中国)が3分41秒59で圧勝した。

萩野公介の話 53年ぶりのメダルを取れたのはうれしい。タイムはいまいち納得できず、悔しい部分はある。メダルのチャンスはあると思って臨んだ。まだまだバルセロナを楽しみたい。

男子100m平泳ぎ準決勝の北島康介(日本コカ・コーラ)は59秒92の全体8位で29日の決勝に進んだ。女子100mバタフライの星奈津美(スウイン大教)、

女子400mリレーの日本は松本(上田、山口、内田、史上初めて決勝に進んだ男子(塩浦、小長谷、藤井、伊藤)は3分14秒75で8位だった。

同200m個人メドレーの渡部香生子(JSS立石)と寺村美穂(セントラルスポーツ)は準決勝で敗退した。



「銀」の瞬間、歓喜に沸く両親(中央)や大久保市長(左)ら応援者たち＝29日午前1時20分、小山市羽川西小

### 母の目に涙

留守部隊も歓喜

最初の決勝レース・400m自由形でいきなりの銀。その瞬間、父は喜びをかみしめ、母は涙した。

世界水泳で日本勢53年ぶりの快挙を成し遂げた萩野公介選手(18)。29日未明、小山市の母校・羽川西小の体育館で行われたパブリックビューイングで、父洋一さん(53)、母貴子さん(49)は大画面に映しだされる息子の勇姿をじっと見守った。

「萩野コール」が一段と大きくなる中、逆転の2位でフィニッシュすると、大久保寿夫市長ら駆け付けた約50人の市民らは歓喜を爆発させ、万歳三唱で両親と喜びを分かち合った。

# 下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号  
〒320-8686  
下野新聞社  
電話 028-625-1111  
郵便振替口座 00180-1-623433  
© 著作権 © 2012

読者室 028-625-1179  
(受付 月～金・午前10時～午後6時)  
編集局 028-625-1121  
販売部 028-625-1120 (販売)  
事業部 028-625-1134 (事業管理)  
営業部 028-625-1133 (広告)

下野新聞社ホームページ  
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

## 電子号外

下野新聞購読お申し込みは  
ダイヤル 0120-810081

携帯、スマホで毎日のニュースを!!



下野新聞 SOON 月額262円  
下野新聞 検索